



平成27年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大盛工業

コード番号 1844 URL <http://www.ohmori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関 忠夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部副本部長

(氏名) 工藤 実

TEL 03-3627-3221

四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年7月期第1四半期の業績(平成26年8月1日～平成26年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第1四半期	457	23.4	△47	—	△37	—	△38	—
26年7月期第1四半期	370	△22.4	△52	—	△60	—	△61	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第1四半期	△0.30	—
26年7月期第1四半期	△0.56	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年7月期第1四半期	3,921	—	2,667	—	67.7	20.66
26年7月期	3,805	—	2,507	—	65.5	20.30

(参考)自己資本 27年7月期第1四半期 2,652百万円 26年7月期 2,494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年7月期	—	—	—	—	—
27年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年7月期の業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	940	1.3	△65	—	△67	—	△65	—	△0.51
通期	3,000	15.9	100	19.7	100	81.1	90	37.3	0.71

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年7月期1Q	129,127,498 株	26年7月期	123,527,498 株
27年7月期1Q	39,427 株	26年7月期	39,352 株
27年7月期1Q	126,917,432 株	26年7月期1Q	110,268,621 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、詳しくは【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、経済政策、金融緩和政策を背景に、企業収益の改善、雇用・所得環境の持ち直しがみられるなど復調傾向にあります。

建設業界におきましては、公共投資が堅調に推移しており、民間設備投資の活性化により受注環境は整いつつありますが、依然として技術者不足や建設資材高騰を背景に、中小企業には厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、主力の上・下水道の施工におきまして、他社との差別化を図るべく、技術力の向上、安全面の安定化を図り、また東北支店における、受注活動を展開してまいりました。そして、不動産部門におきましては、引き続きOLY機材等の新規顧客獲得に向け営業活動に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期会計期間の業績につきましては、売上高4億57百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

収益面につきましては、原価低減、経費削減に努めましたが、営業損失47百万円（前年同期は52百万円の営業損失）となりました。

経常損益面につきましては、不動産賃貸収入等はあったものの、37百万円の経常損失（前年同期は60百万円の経常損失）となりました。

四半期純損益につきましては、38百万円の四半期純損失（前年同期は61百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（建設事業）

建設事業におきましては、公共投資の増加に伴い、受注高9億46百万円（前年同期は53百万円）、売上高3億70百万円（前年同期比34.7%増）となったものの、完成した工事の補償に備え、完成工事補償損失引当金繰入等を計上したことにより完成工事総損失0百万円（前年同期は8百万円の完成工事総損失）となりました。

（不動産事業等）

不動産事業等におきましては、OLY機材の拡販等により、売上高85百万円（前年同期比8.8%減）となり、不動産事業等総利益4百万円（前年同期比68.3%減）となりました。

（その他）

その他事業におきましては、売上高1百万円（前年同期比20.8%減）、その他の売上総利益1百万円（前年同期は0百万円のその他の売上総損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

当第1四半期会計期間末の資産の残高は、39億21百万円となり、前事業年度末に比べ1億16百万円増加いたしました。その主な要因は、不動産事業等支出金の増加1億74百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少49百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債の残高は、12億54百万円となり、前事業年度末に比べ43百万円減少いたしました。その主な要因は、工事未払金の減少26百万円、未払消費税等の減少11百万円、長期借入金の減少7百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は、26億67百万円となり、前事業年度末に比べ1億59百万円増加いたしました。その主な要因は、資本金の増加98百万円、資本剰余金の増加98百万円及び四半期純損失38百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期会計期間までの業績は、平成26年9月12日に公表いたしました通期の業績予想に概ね沿った内容となっており変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,624,650	1,607,384
受取手形・完成工事未収入金等	602,712	553,682
未成工事支出金	105,782	125,395
不動産事業等支出金	156,214	331,145
販売用不動産	151,868	151,868
短期貸付金	100,000	100,000
前払費用	17,071	4,541
その他	229,538	234,020
貸倒引当金	△22,219	△22,219
流動資産合計	2,965,619	3,085,819
固定資産		
有形固定資産		
建物	863,179	863,179
減価償却累計額	△689,084	△692,781
建物（純額）	174,095	170,398
構築物	103,918	103,918
減価償却累計額	△103,918	△103,918
構築物（純額）	0	0
機械及び装置	52,510	52,510
減価償却累計額	△52,510	△52,510
機械及び装置（純額）	0	0
車両運搬具	2,613	2,613
減価償却累計額	△2,518	△2,542
車両運搬具（純額）	95	71
工具器具・備品	74,221	74,221
減価償却累計額	△68,506	△68,845
工具器具・備品（純額）	5,715	5,376
土地	402,253	402,253
有形固定資産合計	582,160	578,099
無形固定資産	6,507	6,227
投資その他の資産		
長期貸付金	184,701	181,967
破産更生債権等	2,252	2,252
固定化営業債権	228,833	231,533
その他	231,463	230,022
貸倒引当金	△396,031	△394,381
投資その他の資産合計	251,218	251,393
固定資産合計	839,885	835,720
資産合計	3,805,505	3,921,539

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	185,523	159,259
短期借入金	150,000	150,000
未払金	2,151	489
未払費用	67,454	68,311
未払法人税等	10,291	2,122
未払消費税等	11,171	—
未成工事受入金	382,974	384,753
預り金	166,852	162,625
工事損失引当金	48,978	48,978
完成工事補償引当金	26,192	28,759
賞与引当金	10,451	23,155
その他	6,248	3,573
流動負債合計	1,068,289	1,032,028
固定負債		
長期借入金	212,000	204,500
その他	17,918	17,918
固定負債合計	229,918	222,418
負債合計	1,298,208	1,254,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,325,240	2,423,873
資本剰余金	620,220	718,853
利益剰余金	△394,629	△433,293
自己株式	△56,488	△56,491
株主資本合計	2,494,343	2,652,941
新株予約権	12,954	14,150
純資産合計	2,507,297	2,667,092
負債純資産合計	3,805,505	3,921,539

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年8月1日 至平成26年10月31日)
売上高		
完成工事高	274,672	370,015
不動産事業等売上高	93,446	85,242
その他の売上高	2,225	1,763
売上高合計	370,343	457,021
売上原価		
完成工事原価	282,932	370,773
不動産事業等売上原価	77,717	80,258
その他の売上原価	3,003	40
売上原価合計	363,653	451,072
売上総利益		
完成工事総損失(△)	△8,260	△757
不動産事業等総利益	15,728	4,983
その他の売上総利益又はその他の売上総損失(△)	△778	1,722
売上総利益合計	6,690	5,948
販売費及び一般管理費	59,445	53,039
営業損失(△)	△52,755	△47,090
営業外収益		
受取利息	—	3,450
不動産賃貸料等	8,441	11,163
貸倒引当金戻入額	—	1,650
その他	5,318	2,968
営業外収益合計	13,759	19,232
営業外費用		
支払利息	3,509	2,931
支払手数料	1,400	—
不動産賃貸原価	3,610	5,056
貸倒引当金繰入額	9,925	—
雑支出	2,748	1,641
営業外費用合計	21,193	9,629
経常損失(△)	△60,188	△37,487
税引前四半期純損失(△)	△60,188	△37,487
法人税、住民税及び事業税	1,074	1,177
法人税等合計	1,074	1,177
四半期純損失(△)	△61,263	△38,664

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成26年3月5日付で、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社に新株予約権を付与いたしました。この新株予約権の行使の結果、当第1四半期会計期間において、資本金が98,632千円、資本剰余金が98,632千円増加し、資本金2,423,873千円、資本剰余金718,853千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自平成25年8月1日至平成25年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	建設事業	不動産事業等	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	274,672	93,446	368,118	2,225	370,343	—	370,343
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	41,711	41,711	—	41,711	△41,711	—
計	274,672	135,157	409,829	2,225	412,054	△41,711	370,343
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△51,477	3,768	△47,709	△5,045	△52,755	—	△52,755

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタルの売買等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	建設事業	不動産事業等	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	370,015	85,242	455,257	1,763	457,021	—	457,021
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19,250	19,250	—	19,250	△19,250	—
計	370,015	104,492	474,508	1,763	476,271	△19,250	457,021
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△41,860	△5,391	△47,251	160	△47,090	—	△47,090

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタルの売買等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。